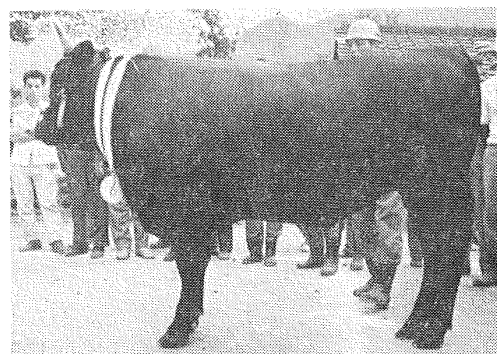


# 畜産共進会アルバム

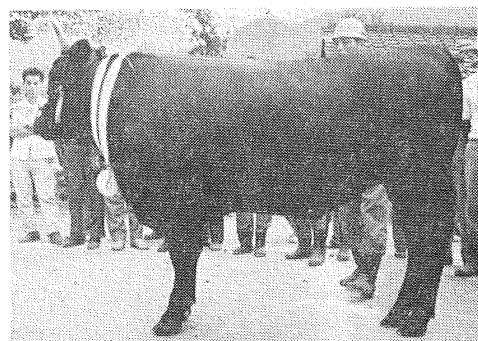
## 第20回岡山県畜産共進会(各部門1等賞首位家畜)

### 晴れて岡山県一に

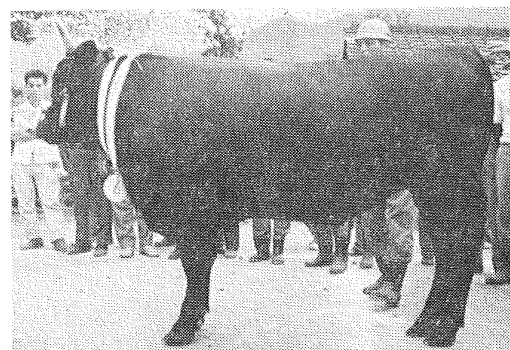
肉用種々牛 雄の区 1等賞首位  
 名号=竹花 (38. 4. 17生一阿哲産)  
 血統=(父) 第16登、(母) 第7まつかぜ  
 出品人=阿哲・哲西 沖田 積  
 短評=発育ならびに均称よく、品位もよい。特に後軀が立派である。  
 難をいえば、肋ばりのたりない点である。



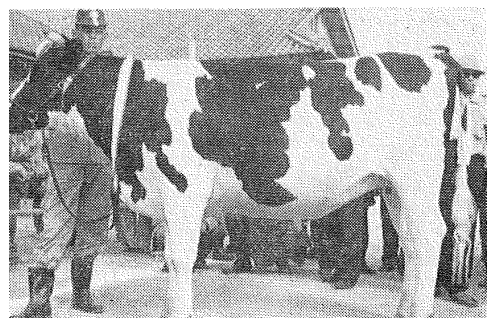
肉用種々牛 雌の区 (生後15ヵ月~23ヵ月) 1等賞首位 農林大臣賞受賞  
 名号=きみ3 (38. 5. 29生一苦田産)  
 血統=(父) 中照、(母) はるはな2  
 出品人=苦田・加茂 藤田公之  
 短評=発育ならびに均称体積が特によく、体上線も率直で後軀の形状も立派である。  
 ただ皮ふ被毛にやや難点があった。



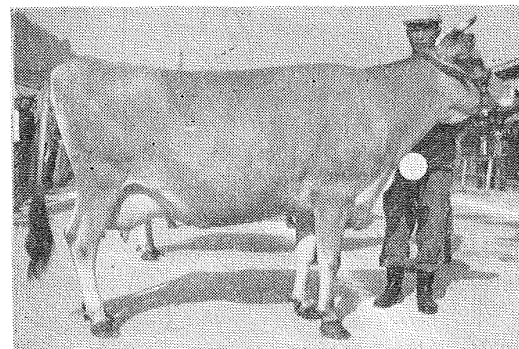
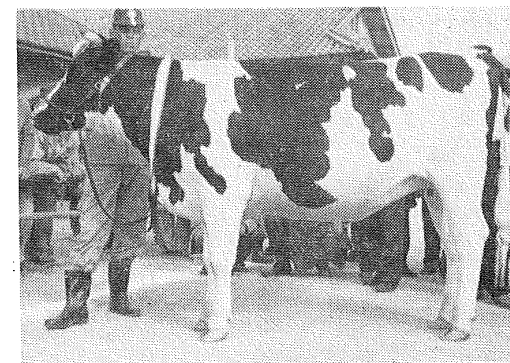
肉用種々牛 雌の2区 (生後24ヵ月以上) 1等賞首位  
 名号=まえひかり (37. 8. 4生一新見産)  
 血統=(父) 第3安達、(母) 第1ちこう  
 出品人=新見・千屋 上田武夫  
 短評=発育がよく、特に胴伸びと各部の移行及び後軀の形状がすぐれている。  
 しかし、十字部腰角と被毛の質、体の深みに今一步の改善が必要。



ホルスタイン種々牛 経産の区 1等賞首位 農林大臣賞受賞  
 名号=リリス コパーク ロメオ (38. 11. 13生一勝田産)  
 血統=(父) パブスト ウォーカー コパーク (母) リリス ガヴァナー ロメオ ルチェ  
 出品人=勝田・勝央 岸本富雄  
 短評=品位、体積があってデリーキャラクターに富み、乳器の付着、形状もよい。  
 難点としては背腰及び肢蹄がやや弱い。

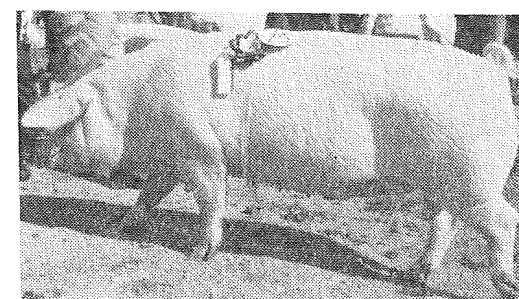
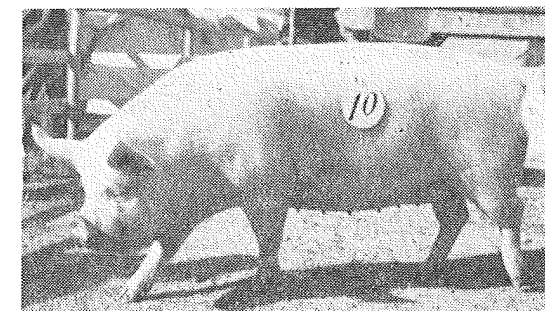


ホルスタイン種々牛 未經産の区 1等賞首位  
 名号=ホープ ガヴァナー フェムコ フォーブス (37. 10. 28生一真庭産)  
 血統=(父) 第60カーネーション ガヴァナー インペリアルラッド (母) ホープ フォーブス グルーチェ ヘーロ  
 出品人=真庭・落合 若田光晴  
 短評=均称、体積が良好で乳牛らしさに富み、乳房の付着がよく、容積、形状もよい。  
 惜しい点としては皮ふ、被毛が荒く、ゆとりが乏しく、蹄がやや薄い。



ジャージー種々牛 1等賞首位  
 名号=申請中 (34. 9. 30生一真庭産)  
 血統=(父) スターダスト ロヤリスト ジュニアース ジェスター (母) サイレイ ブルーシルヴァー  
 出品人=真庭・八束 入沢成昌  
 短評=クリーンカットで、特に肩、背腰及び資質がよい。  
 難点は乳房の付着と後軀がややさびしい。

ランドレース種豚 1等賞首位 農林大臣賞受賞  
 名号=タッペル オブ ゴールドン アブク 2~7 (38. 11. 30生一笠岡産)  
 血統=(父) タッペル オブ ゴールドン オカヤマ 1~5 (母) ペー オブ ゴールドン オカヤマ 1~5  
 出品人=総社・溝口 横田清吉  
 短評=発育極めて良く、体積品位に富み、体上線、体下線ともによく、肢蹄も強健である。  
 しかしながら、乳頭の配列が不良で、尻幅が不足している点が惜まれる。



ヨークシャー種豚 1等賞首位  
 名号=ローズ テーブ ミヤタ 3~3 (38. 10. 25生一上房産)  
 血統=(父) ヒタカ ローズ ヒラノ 7~6 (母) テーブ マイタカ キクチ 6~5  
 出品人=上房・北房 大慎新太郎  
 短評=発育極めて良く、体積品位に富み、骨緊り肉緊りともによくすぐれている。  
 しかし、体長がやや不足し、皮ふ被毛がやや荒い。



# 第20回岡山県畜産共進会 審査報告(抜粋)

第20回岡山県畜産共進会は10月2日から5日までの4日間、新見市において岡山県の主催、各関係団体の後援協賛によって盛大に開かれた。この日のために磨きあげられたすばらしい家畜が各地から参集して順位を競ったが、栄冠に輝いた1等首席の家畜は写真のとおりである。

会場が3ヵ所に別れていて不便さはあったが、阿哲畜連新見家畜市場では乳用種牛と種豚、新見第一中学校の校庭では肉用種牛の審査が行なわれ、労働会館の会場では畜産写真展の入選作の発表と畜産映画が上映された。

なお、岡山県主催による畜産共進会は今回をもって一応終わり、来年度からは専門団体主催による共進会が新しく始まることになる。この畜産共進会がますます盛大なものになるよう各関係方面の一層の御清進を希望したい。

## 第1部 肉用種々牛

### 1、出品と審査区分

省略

### 2、一般概況

今回の出品は83頭の多数にもかかわらず、よく揃っており優劣の差が少なかった。

### 雄の区

将来、肉用牛改良上大きな責任を担わなければならないものとしてはもう一息の高水準を望みたく、特に今一步体積のある牛が揃ってほしかったと思う。

### 若雌の区

この区が、一番よく揃っており、発育がよく、均称のととのったしかも体積のあるものが多数あった。

### 雌成牛の区

やや不揃いの感があったが、上位入賞の各牛は、優劣の差が極めて僅少であった。

### 3、将来改良を要する点

産肉能力の高い経済的な肉用種畜の供給県としての立場から、早急に時代の要求する肉用種牛に改良

するため、発育のよい体積の富んだもの、特に中軀の美点はさらに伸ばし、そして後軀に重点をおかなければならない。なお、資質、特に皮ふに一層の改良が必要である。

## 第2部 乳用種々牛

### 1、出品資格と出品区分

省略

### 2、一般概況

出品42頭のうち、経産牛がホルスタイン種、ジャージー種を合せてわずかに10点とさびしい限りであったが、出品されているものは少ないなりに粒揃いで各位の出品に対する熱意が伺われた。

### ホ種、未經産の区

特に改良されていた点は、デーリーキャラクターであって、被毛、皮ふ及び乳房が非常によく揃っており、発育も1、2点を除き良好であった。繁殖も順調に行なわれており、飼養管理技術が一段と進歩したことを物語っている。

### ホ種、経産の区

粒がよく揃っており、乳房の質、付着形状などに不良のものが少なかった。今後は強健で体積のある力強い乳牛を作り出すよう努力が望まれる。

### ジャージー種の区

年々向上のあとがみられ、粒揃いになってきたが、反面、ジャージー種の特徴である持久力、連産性の象徴であるところの背腰、肢蹄、乳器の付着などの弱いものが目立っており、今後一層の改善が望まれる。

### 3、将来改良を要する点

#### ホルスタイン種

乳房の付着、後軀の改良に重点をおいて、種雄牛の選定を行なう。

肢蹄は乳牛の経済性に対して最も重要な点であるので、飼養管理、とくに育成に注意すること。

#### ジャージー種

今後もジャージー種の特徴である運動性の基礎となる肢蹄を強くするよう、飼育管理に重点をおくこと。

### 第3部 種豚

#### 1、出品資格と出品区分

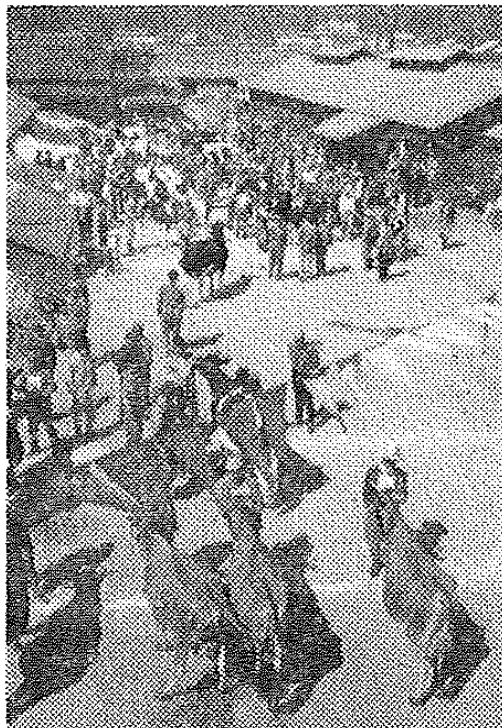
省略

#### 2、一般概況

一般的に昨年より体型、資質ともに優れ、体積に富み特に乳徴が良くなった。これは飼養管理技術が向上したことを示しているが、一部には運動の励行にもかかわらず、飛節がわん曲しているために肢蹄が弱く姿勢の良くないものがみられた。また概して肉緊りが悪く、頭頸部が重く、ふとり過ぎのため頬、下がく部が垂れ下り、腿の充実を欠くものがあつたと同時に、手入れ不良による被毛の粗野なものが見受けられた。

#### 3、将来改良を要する点

一般に発育がよく体積に富んでいるものが多かったが、前軀に比べて後軀の幅が狭いものも多かったのでこれを改善するとともに中軀の伸びを良くする必要がある。また、運動によって肢蹄を強化し良質自給飼料の給与による経済性の向上と種豚の過肥を避けるように改善しなければならない。



第1会場における乳牛の比較審査、いずれも優秀で差がつけられなかった。

ていなかったようである。また駅前の河原にはオートバイの展示即売が開かれ、若い人の目をひきつけていた。会場の入口付近には露店もはられて、お祭りに色をそえていた。

初日（10月2日 金曜日）はすばらしい小春日和で蓋をあけた。

午後9時の開会式に続いて肉用牛の総体審査が始められ、午後には第1会場で乳用牛の比較審査、第2会場の新見第1中学校の校庭では肉用牛の比較審査が行なわれた。第2会場は第1会場よりかなりは



種豚の審査風景。思うように動いてくれぬ豚に、出品人もムチをもって四苦八苦。

## 共進会日誌

### 会場から拾う

毎年、秋に開かれる「畜産の祭り」、畜産共進会も20回を数えて岡山県主催の最終を飾るべく好天気恵まれて、新見市近在よりかなりの人出をさそい成功裡に閉会した。躍進する岡山県畜産を誇示するにふさわしく、どの家畜もすばらしい。審査員の諸氏も優劣をつけるのに苦心していた。

今年の共進会は、付帯行事が1つもなかった昨年とは反対に多くの行事が催された。展示場に当てられた労働会館では県下のカメラマニアから応募した畜産写真展の入選作品（推薦＝高梁市若潮観、特撰＝玉野市児橋訓郎、児島市星島鉄文）が発表され、また畜産映画が会期中全日に亘って上映されて人気を集めていた。同会館には共進会参観者のために畜産相談所を開いていろいろな相談を受ける体制をとっていたが、知られなかったためかあまり利用され

## 岡山畜産便り 1964.10・11

なれていたが、道を知らない人でも牛のウンコと鳴き声をたどってゆけば大丈夫である。天下の大道で歩きながらペタンペタンとやる姿はまこと不礼極まりないが、この日ばかりは牛が殿様である。

きょう揃うはずの乳牛で県南からの輸送がもたつき、日が暮れても着かず係員をあわてさせた一幕もあったが、まずは静かにくれた初日であった。

牛舎の天幕のあちこちからは夕げの炊飯器から銀メシのいいかおりがただよってくる。落付かぬ顔をしていた牛たちも主人と寝食をともにしてもらい、なれぬねどこでも静かにやすめたことであろう。

2日目(10月3日 土曜日)きょうもよい天気で明けた。

会場に行ってみると、乳牛の赤ちゃんが生れていた。予定日はまだまだであったが、運送のトラックの上でゆすられたためであろう。それでも母子ともに健在、係員たちもホッとしていた。

今日からは種豚の審査も始められる。朝早くからブブウいいながらおめかしを主人にさせている豚もいた。

各部門の審査も進み比較審査に入りたいの線は審査員の胸のうちで決まっているのであろう。出品者も、うちのはいい線をいっているようだ、うちのはどうも旗色が悪いぞという表情を表わしている。きょうも暮れた。まちの呑み屋も繁昌していることであろう。

第3日目(10月4日 日曜日)きょうが共進会のやま場である。日曜日とあって参観者もぞくぞくとつめかけてきている。

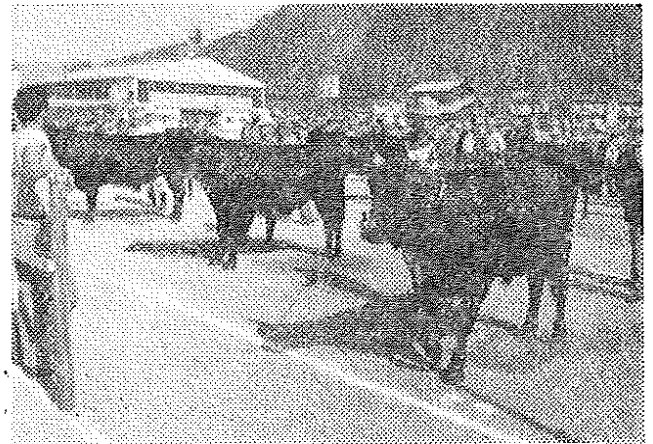
午前中、最終比較審査が行なわれて各部門の入賞家畜が決定した。同時に肉用牛、乳用牛では今年はいじめて設けられた特別賞の該当牛も決定されたが、残念ながら乳牛では該当牛がなかった。豚では全国豚共進会出品豚も決められた。

昼の休憩時間には特別審査員として招いていた農林省宮崎種畜牧場種畜課長新井速雄氏の「乳牛の改良と酪農経営」、全国和牛登録協会専務理事石原盛衛氏の「肉用牛の改良と今後の経営」と題した講演が第1会場のセリ場で行なわれ、出品者、参観者を多数集めて、耳からも経営面の勉強をしてした。

午後には入賞家畜が展示され、晴れの姿をカメラ



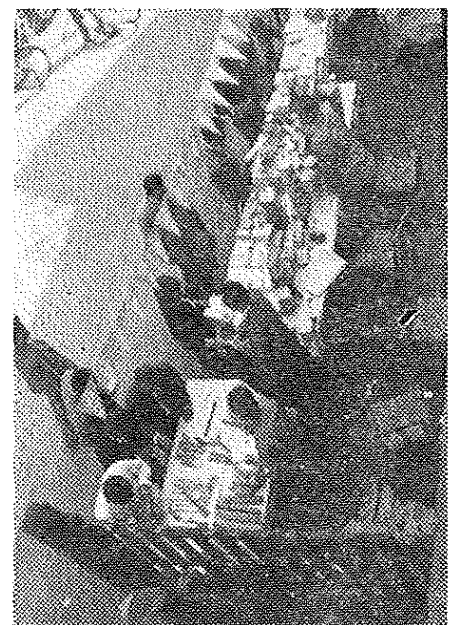
第1会場の阿哲畜連新見市場に作られた歓迎のゲート。



新見第1中学校の校庭に、ぎょうぎよく並んだ肉用種の雄牛たち。

に取ってもらったり、参観者の称讃に浴していた。引続き入賞牛の講評が行なわれ、皆なるほどと顔でうなづいていた。

夜になると牛舎では、あちこちでわが家の愛牛の健闘をたたえてコップ酒の祝杯



おなじみの総畜の展示即売場が設けられ、人々の目をひいていた。

## 岡山畜産便り 1964.10・11

があげられ、また残念といってコップが空けられていった。日頃の苦労も出品して衆目を集めたことによって十分報いられたであろう。ただし、となりで静かにねりをかえしている牛は、うれしがっているのか迷惑がっているのかわからなかった。

最終日（10月5日 月曜日）どうやら天候に恵まれて終りそうである。

朝のうち上位入賞家畜がもう一度展示され、11時よりセリ場でいよいよ褒賞授与式が始まった。受賞

者の満足そうな思わずほころびる笑顔のうちに今年の共進会も幕をとじた。

さしたる事故もなく、こじんまりと落付いた共進会であった。来年からは団体主催の共進会になるが、岡山県畜産もますます発展するであろう。

（孝忠記）

## 共進会を終って

### 各部門審査委員主任の感想と農林大臣賞受賞者の言葉

肉用種々牛部審査委員主任

林 正 夫

全般的に見渡して、たしかに向上してはおりますが、雄の区は反対に悪くなった感があります。昨年度より肉用牛となってモノサシが変っていることがよく理解されていないのだろうと思います。それに近頃産肉能力ということがよく言われますが、それにまどわかされてか、肉を付けすぎて種牛というより肉牛共進会に出品すればよいようなものが多くみられました。

また、来年度からは団体主催の共進会になりますが、これには私は双手を挙げて賛成します。

乳用種々牛部審査委員主任

関 師 重 孝

毎年、資質は向上しているが乳器、肢蹄はあいかわらず悪いです。育成技術の改善を早く行なう必要があります。

それに今回も経産牛が少ないのですが、まだまだ共進会に対する意義の認識が足りないのですね。出品すると乳量などに影響がありますから、これを援助してやる必要があります。いいものをもっておればおるほど出品して、研鑽の的にしたいものです。

種豚部審査委員主任

岡 秀 行

だんだん出品が少なくなるのはさびしいが、ヨークシャーはよく改良されてきている。しかし、ランドレースが揃っていないのは残念です。これから団体主催になっても、べつにかわりはないでしょう。

乳用種々牛の部 農林大臣賞受賞

勝田郡勝央町 岸 本 富 雄

私は地区だけの出品でもうやめようと思っていたのですが、やはり出てよかったと思います。それでも年々、共進会がさびれてゆくように見受けられさびしいですね。

来年からは専門団体の主催になるそうですが、たいへんいいことでやはり専門の方々にお世話していただくのが一番いいです。

種豚の部 農林大臣賞受賞

総社市溝口 横 田 清 吉

今年、初めて出品したのですが、出るからには上位入賞をねらっておりました。その希望がかなってこんなうれしいことはありません。

岡山畜産便り 1964.10.11

**団体優勝**

優勝（和牛の部） 阿哲地区  
 優勝（乳牛の部） 北酪地区  
 総合優勝（全家畜） 真庭地区  
 総合優勝（大家畜） 真庭地区  
 優勝 岡山県北部 酪農業協同組合

**個人優勝**

真庭郡落合町 若田光晴  
 勝田郡勝央町 岸本富雄  
 真庭郡八束村 入沢成昌

・・畜産功労者表彰・・（順位不同）

**岡山県知事表彰**

真庭郡 亀山 乾

**岡山県農林部長感謝状**

西大寺市 出射 了  
 吉備郡 栢菅静男  
 総社市 坪井一男  
 川上郡 湯野農業協同組合  
 新見市 藤井松太郎  
 津山市 須江定美  
 英田郡 赤堀長男

和牛地区別受賞点数表 ( )内は牡

地区別	区分	1 等	2 等	3 等	計
岡山・御津			1	1	2
赤磐・和気				2	2
都倉・浅口・児島		1	1	3	5
吉備・総社		(1) 3	(2) 5	3	(3) 11
小田・笠岡			(1)	(1) 2	(2) 2
井原・後月			1	1	2
高梁・上房・川上		2	4	(1) 1	(1) 7
阿哲・新見		(2) 3	(1) 5	(5) 1	(8) 9
真庭		(1) 2	(1) 3	(2) 4	(4) 9
苫田・津山		2	2	(1) 4	(1) 8
久米				1	1
勝田			(1) 2	3	(1) 5
計		(4) 13	(6) 24	(10) 26	(20) 63

乳牛組合別受賞点数表 ( )内はジャージー

組合別	区分	1 等	2 等	3 等	計
新見				1	1
北酪		(2) 4	(4) 3	(4)	(10) 7
美作			1	1	2
芳井				2	2
山陽				3	3
新山				1	1
新倉敷				3	3
旭東		2	2		4
高梁			2	1	3
美星		1	1		2
総社				2	2
児島			1		1
平津			1		1
浅口				1	1
計		(2) 7	(4) 11	(4) 15	(10) 33

豚農林管内別受賞点数表 ( ) ランドレース

農林別	区分	1 等	2 等	3 等	計
岡山	山		1	(2) 2	(2) 3
和気					
倉敷		(1) 1			(1) 1
笠岡		1	1	(1)	(1) 2
高梁		(1)		(1)	(2)
新見					
勝山					
津山			(2)	2	(2) 2
美作		(1) 2		1	(1) 3
計		(2) 2	(3) 4	(4) 5	(9) 11